

31-0016 W6-3

新規不斉 Baylis-Hillman 反応触媒 ent- β -ICD の合成○中野 綾子¹, 高橋 圭介¹, 石原 淳¹, 畑山 範¹ (¹長崎大院医歯薬)

【目的】当研究室で開発した不斉 Baylis-Hillman 反応触媒 β -ICD にエナンチオ相補的なキラルアミン触媒を合成する。

【方法と結果】キニーネを既知の方法に準じてアミノアルコール **1** とした後、ウレタンの形成、オレフィンの酸化的開裂を経てアルデヒド **2** とした。**2** の異性化後、Wittig 試薬、Eschenmoser 反応剤にて増炭反応に付し、アリルアルコール **3** へと導いた。**3** をヒドロホウ素化-酸化し、ウレタンの加水分解後、アミノ基を Boc 基で保護し、Boc 体 **4** とした。**4** の水酸基の保護、アミノ基の脱保護を行った後、アセトニトリル中加熱還流しキヌクリジンを得、続く二段階操作で **5** を合成した。**5** を用いた不斉 Baylis-Hillman 反応の結果、**5** は期待通り β -ICD にエナンチオ相補的な触媒能を示した。

